

## 学長のコラム

### 地震と建物の強さについて

今回の熊本地震では、皆様大変な目に遭われたと思いますが、被災された教職員、学生の皆様に、心より、お見舞い申し上げます。私は、地震に対する土木構造物の強さを研究してきましたが、その立場で、地震と建物に関する豆知識を少し紹介します。○揺れの大きさは、地震のエネルギー規模であるマグニチュード (M) の大きさと震源からの距離に関係します。気象庁が定めた 10 段階の震度 (階級) で表されますが、揺れるときの加速度と対応しています。震度 7 は、 $1000\text{cm/sec}^2$  (1.02g) です。震度 7 の上下動であれば、重力加速度 1g ( $980\text{cm/sec}^2$ ) 以上ですから、無重力状態になり物体が浮き上がり飛んでいくことになりますし、水平の揺れであれば、ニュートンの法則により、この加速度に物体の質量を乗じた力 ( $F=m \cdot a$ ) で押し引きされるので、この力に耐えられなければ、転倒、倒壊することになります。○1981 (昭和 56) 年以降の新耐震設計法で設計されたマンションなどでは、震度 5 強 ( $180\text{cm/sec}^2=0.18\text{g}$ ) の揺れに対して損傷はせず、震度 6 強～震度 7 で損傷はするが倒壊せずに人命だけは守るということになっています。今回のように、震度 6 強～震度 7 が 2 回連続しますと、1 回目で損傷した構造物は、2 回目で倒壊しない保証はありません。○頭でっかちは耐震性が低いので、屋根の重い家は倒壊しやすい。○窓などの開口部が少なく、筋違や壁が多いほど耐震性は高い。○本学 2 号館のようなピロティ構造は一般に耐震性は低い。○材料的には、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、木造の順に耐震性は高い。○切り土、盛り土、埋立地の順に耐震性は高い。○杭基礎、べた基礎、布基礎の順に耐震性は高い などで。今さらと思われるかもしれませんが、何かの参考になれば幸いです。



### 全学集会

5 月 9 日 (月) にアリーナにおいて、熊本地震に伴う全学集会を行いました。まず、始めに、今回の地震で亡くなられた方々へ黙祷を捧げました。続いて、学長より、14 日の地震後、大学として取った措置等の報告のあと、次のようなお言葉がありました。被災された皆様へのお見舞い、学生有っての組織である大学へ復帰された学生諸君への歓迎、講義再開に向けて、教職員の皆様が昼夜を徹して努力して下さったことへの感謝、多くの学生がボランティア活動を行ったことを耳にしてうれしかったこと、教育研究のための機器等の被災については、特別予算で迅速に復旧をすること、教職員は、学生諸君の国家試験や就職に影響が出ないように努力するので、生活上の問題や心配事、悩みは何でも相談してほしいこと、そして、学生、保護者、教職員の絆を密にして、お互いのことを思いやり、助け合って、この難局を乗り切ることを確認して、結びとされました。



### ラーニングコモンズ4月オープン!

図書館と 1 号館 1501 教室にラーニングコモンズを開設しました。電子黒板や可動式のイスやテーブル、ホワイトボードなどを設置しました。電子情報や図書など様々な情報を収集し、



それをもとにパソコンや電子黒板などを利用しながらグループでのディスカッション、プレゼンの練習、またその成果を発表し意見交換を行うなど、学生の皆さんが、主体的に活用できる多目的でアクティブな空間です。

さらに皆さんをサポートするための教職員や学生サポーターによるライティングや文献検索等の学修支援サービスも提供します。そして、崎元学長から学長作の絵画もいただきました。個人学習エリアに展示しています。

皆さんの自由発想でラーニングコモンズを大いに活用してください。  
(文責：図書館)



### 5 月・6 月の主な行事予定

5 月 15 日 (日)	開学記念日 助産別科開設 10 周年記念事業 → 12 月 4 日(日)に延期
24 日 (火)	平成 28 年度第 1 回新任教員お披露目講演会 大学教育改革推進プログラム (学長裁量経費) 成果報告会
25 日 (水)	学校法人银杏学園 理事会・評議員会
6 月 18 日 (土)	校友会主催 球技大会

### 平成 28 年度科学研究費採択一覧

平成 28 年度の科学研究費補助金が 1 件新規採択されました。おめでとうございます。(敬称略)

種目	氏名	期間	研究課題名	交付予定額 (直接経費)
挑戦的萌芽研究	大塚 裕一	H28 - H29	高齢者の嚥下機能低下に対するトレーニング機器及びその方法の開発	190 万円

## 第2回 FD セミナー

3月22日(火)に早稲田大学教育学部教育心理学専修の梅永雄二教授を講師にお迎えし、2015年度第2回FDセミナーを開催しました。梅永教授は長年にわたり発達障害の専門家として様々な支援体制について研究されており、多くの専門書を執筆されています。また臨床心理士や自閉症スペクトラム支援士Expert、特別支援教育士SVなどの資格もお持ちです。FDセミナーでは「発達障害学生に関する教育と就職支援」をテーマに、数々の事例を交えながら、教育や就労など様々な領域でどのような支援を行えば有効なのか、個々の将来の自立を見据えた教育支援を検討するためには適切なアセスメントが実施されるべきだどご講演いただきました。よく知る、理解する、その上で適切なアセスメントを経て適切な指導・支援へつなげて行くことがポイントです。本学の教育の充実・強化に向けた取り組みとして活かしていきたいと感じます。今回のFDセミナーは大学間連携事業として他大学にも参加を呼び掛け、崇城大学から27名、熊本大学から6名、西南女学院大学から1名の先生方にも参加いただきました。(文責：佐藤学務課長)



## ICT活用と著作権講習会

3月24日(木)、講師に福山平成大学副学長の尾崎史郎先生をお迎えして、ICT活用と著作権講習会を開催しました。参加者は、教職員60名。著作権の基礎から実例や判例、ICTを利用するにあたっての著作権とのかかわりや注意点について、分かりやすくご説明いただきました。また、参加者と活発な質疑応答も行われました。(文責：図書館運営委員会)



## 新アリーナ建設地鎮祭

本学は、平成15年開学時は800名であった学生数が、今では約2倍の1,600名ほどの学生が学んでおり、現アリーナではスペース的に不十分な行事(入学式・卒業式・オープンキャンパスなど)に対応するため、新アリーナを建設する運びとなりました。



構想開始から5年余、これから約2年間に亘る工事が始まります。そこで、3月30日水曜日(大安)に大学関係者及び工事関係者立ち会いの下、JR西里駅前の建設予定地において、地鎮祭が執り行われました。

地鎮祭とは、工事を始めるにあたり、現地の土地の神様にお許しを願い、工事の安全をお願いする神事です。この度は、地元の西浦荒神社・総社宮をお願いして、工事の無事を一同で祈念致しました。

寒風吹きすさぶ中でしたが、2号館前の桜もいい頃合いに花開いており、厳かに神事は執り行われました。

2年後の春、平成30年の入学式は新アリーナで行われる予定です。皆さん楽しみに待っていて下さい。(文責：環境施設管理課)

## 実習認定式

4月2日(土)に看護学科新3年次の実習認定式を開催しました。病院実習を通して、大学の中だけでは学べない多くのことを学んで来てほしいと思います。



## 私の秘話ヒストリー

今回は医学検査学科 田邊香野助教に投稿していただきました。

「ねえ、『じょーん、じょーん』ってばあちゃんに言われたけど何のことだと思う？」避難所での昼下がり、古い友人からの質問でした。熊本地震の本震以来、避難所には多くの避難者が集まり、最初のうちは700人以上が小さなおにぎりを二人で一つ分け合うような状況でした。しかし、私の住んでいる地域は被害が大きかった一方で田舎だったため農家さんがたくさんいます。避難してすぐ2日も経たないうちに避難者同士の有志による炊き出しが始まりました。誰もが家に帰れないような状況の中、壊れた家や納屋から米や野菜、調味料をかき集め、一人一人が出来ることをしながらこの危機を乗り越えようと避難所が動き出していました。こんな状況だからこそ出来るだけ衛生的に！おにぎりはラップ越しに握りました。もちろんすぐに足りなくなったラップも避難所の総括の呼びかけでみんなが持ち寄り、工夫しながら危機を乗り越えました。支援物資が少しずつ届いても“自炊”は続き、共に乗り切ろうという意識は続いていました。ここで初めの話題に戻りますが、じょーん…犬の名前？答えは中々出ませんでした。どうやら“常に(じょうに)”という方言があるらしくそれが会話の中で短縮されてじょーんと聞こえたのだらう、との事でした。ちなみに使用例としては「あん人はじょーんおるもんな(意味：あの人はいつもでも居る)」というような使い方です。難しい！(文責：田邊香野助教)

## 成績優秀者表彰

4月13日(水)に平成27年度成績優秀者の表彰式を行いました。医学検査学科7名、看護学科6名、リハビリテーション学科9名の合計22名に表彰状と奨励金が授与されました。おめでとうございます！今後も引き続き勉学に励んでくれることを期待します。



## 杏友会歓送迎会

4月14日(木)に熊本ホテルキャッスルにおいて、杏友会歓送迎会を開催し、135名の教職員の方々にご出席いただきました。



崎元学長より、昨年度末で杏友会退会者の廣瀬前特任教授と石原前就職支援センター長に記念品が授与されました。

また、新任者の教職員の方々からご挨拶いただきました。